

連合審査会

議会報告会(中学生
サミット2024を
受けて)

①総務・福祉教育・産 業経済常任委員会

「通学路の安全確保(危険箇所の改善・道路標示等のメンテナンス)」
通学路の安全点検の取り組みについて、年1回安全点検を実施。PTAを含む学校と地域からの要望をまとめ、たうで通学路等安全推進会議(道路管理者・警察・担当部局)にかけ、現地確認を9、10月に数日間行っています。その後必要に応じて予算化していくもの、検討していくもの、公安委員会等へ要望していくものと整理し台帳を更新しています、といった現状の話があります、と

た。

委員からは「大人が子どものために取り組んでいることを当事者である中学生自身が知らないということがある。子どもたちの意見が、通学路等安全推進会議のような大人の会議の場に吸い上げられ、それに対してフィードバックされるといことがこども基本法にあることも、若者の意見表明ということになり、そういった仕組みを作るといような提言を求めたい」「ホームページに『通学路危険箇所対策等実施箇所一覧表』が載っているが、実施済は色を変えるなどわかりやすい表にして中学生にも伝えたらどうか」「ヒヤリハットの事例を吸い上げるシステムがあればよい」「実際に通っている中学生がどう感じているかという意見を吸い上げるこ

とで通学路として適切な道路なのか、自転車の乗り方から危険を招いていないかということまで見えてくるのではないか」といった意見や提案が出ました。

②総務・福祉教育常任 委員会

「ストレスのないインターネット環境の構築」

委員から、インターネット環境がつながらなくて授業に支障をきたしているのか、またその原因を調査されているのか、という質疑がありました。それに対して、日常的にトラブルはあります。その都度、学校から教育委員会に連絡が入り、業者のコールセンターなどにつないで対応してもらっています。すぐ回復することもありますし時間がかかることもありますが、授業を行う教師はあらかじめ他

の方法も用意して対応しています。また、原因調査は行っていない。国が設置している通信環境の目標だと500人規模の小学校で通信速度がおよそ500メガですが、市内の同規模校で68ぐらいしかありません。通信事業者も含め、国レベルで面的にスピード環境を整え地域全体のレベルを上げていただきたいというのが市の見解です。来年度、原因調査についての財源措置があると聞いているので、計画していきたいと考えています、との答弁がありました。

「学校の施設(エレベーター)や設備(上下移動の黒板・網戸)の整備」

現在エレベーターがあるのは、小学校では石部・岩根・菩提寺北下田・水戸の5校で中学校では甲西中学校の1校です。エレベーターや

上下移動の黒板などは大きな予算を伴うので、大規模改修時に合わせ整備を進めてきました、という現状の説明があつた後、委員からは「上下黒板の必要性については議会報告会の折、実際の学校生活から話が出てきた。多額のお金を要するものではないものは計画的に進めてほしい」「耐震という切り口で大規模改修の取り組みを行ってきたところだが、費用がかかるからやめようではなくて、やらなければならぬといったことに対してはお金がかつてもやっていくということも表してほしい」といった意見が出ました。

た。

③福祉教育常任委員会
中学生の意見が届くシステムの構築(意見箱・目安箱)

校内ですでに意見箱を設置している学校が

あつたり、市長への手紙の中には中高生からの手紙が入っていたりするが、現状ではなかなか意見が反映されていないとつかがえます。

議会報告会での中学生の意見にもありましたが、まず自分たちで解決できることは解決しながら、先生方とも相談し、それでも自分たちには手の負えないことは教育委員会や議会といった行政に伝えていく仕組みをつくっていくべきではないか。その際には、無記名にするのかどうかということは十分な議論が必要になってきます。一人一台端末をうまく活用するということも工夫次第で可能となるのでは、との意見が出ました。

